



英語科 24期生

平成 6 年に創設された英語科は平成 29 年の 4 月に第 24 期生 40 名(男子 2 名、女子 38 名)を迎えました。
私は第 5 期生として英語科を卒業しましたが、英語科設置に至るまでの経緯や設立当時の先方のご苦労というものを全く知らずに 5 年前に母校に赴任しました。

英語科
第24期生を迎えて
高53回 赤羽 紗也子

本校には当初「理数科」設置という案があり、現在も残る立派な理科棟が新設されたものの大多数の職員の反対により実現はならず、数年後本校の活性化を目的として「英語科」設置が承認された(80周年記念誌「縣陵の歩み」より)という紆余曲折があったことを知る英語科卒業生は少ないのではないだろうか。
また、英語科を軌道に乗せるまでには第 1 期生の担任を務められた高橋忠志先生をはじめとする多くの先生方のご苦労と試行錯誤があったことは、本校英語科教諭の池上博先生のご尽力により作成された英語科創立 20 周年記念誌より拝察されます。
英語合宿、海外語学研修、ALT との少人数授業、ディベート等、今でも英語科の根幹を成す英語科独自の活動が 20 年以上前からスタートしたということを考えて、如何に画期的で先進的な取り組みであったかということが言えると思います。

そしてこのような取り組みが、英語科卒業生と現在の英語科の生徒たちにとって英語の基礎となり、英語でコミュニケーションを行う際の自信となっています。

この春から私は第 24 期生の担任を務めています。歴代の担任の先生方が述懐されているように、英語科創設以来変わらなぬのは「積極的に明るい生徒たち」であり、そして英語科の担任をするという経験は「英語教師冥利に尽きる経験」だということです。

一方で、世の中は大きく変化し、英語でのコミュニケーション能力は英語科の生徒のみに求められるものでは無く、また英語だけが出来ても特技とは言えない時代となっています。

そのような時代に、英語科で学ぶ生徒たちは何を身に付けて、何を学んでいくべきなのか。生徒と共に考えながら、この幸せな時間を過ごして行きたいと思っています。



白虹会 3年 小林 里穂

2年 永田 弓子
2年 柳原 立冬
2年 青柳 舞夏
3年 矢口 奈緒美
2年 原田 彩織
3年 大家 百合子
2年 三澤 果摘

—漢方薬・ダイエット・免疫療法相談—
たかみや恵深堂薬局
薬剤師 高宮 深音 (高32回)
〒390-0811 松本市中央 1-26-1
TEL 0263-34-5056
定休日: 日曜・祝日
URL: <http://www.keishindo.net>
mail: takamiya@po.mcci.or.jp

ITソリューション・ソフトウェア開発
AID
「信頼・安心」を大切に、お客様と心通うITソリューションをご提案します
代表取締役 戸谷 典孝 (高29回)
#アドバンスト・イン・コミュニケーション・デザイン
〒390-1701 松本市梓川 3820-1
TEL: 0263-78-8003 (代表)
<http://www.a-i-d.co.jp>

明日の健康を見つめる
キッセイ薬品
代表取締役社長 最高執行責任者 **両角 正樹** (高26回)
〒399-8710 長野県松本市芳野 19 番 48 号
TEL: 0263-25-9081
URL: <http://www.kissei.co.jp/>